

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	商店街（代表者）	・現在が売上においても底である。これから中元商戦にも向かっていくので、2、3か月先は好転する。
		スーパー（店長）	・4月度より少しずつ良くなってきており、5月度で来客数、売上とも例年を完全にクリアできてきている状況からして、2～3か月先は来客数も上昇し景気も良くなる。
		スーパー（総務担当）	・現在の青果物の単価高は異常だが、少なくとも売上高ベースで例年をクリアしてきており、乳製品等も堅調に推移し、全体で2～3%上昇してきている。
		家電量販店（店長）	・ここ半年全体的に良くなっており、右肩上がりになっている。
		家電量販店（店員）	・シーズン商品がやや動くようになるため、買上点数がやや増加し単価が上昇する。
		その他専門店〔書籍〕（店員）	・書籍売上の下げ止まりがみられるとともに、講座受け付けが大幅に上昇しているのので、売上の上昇が見込まれる。
		一般レストラン（店長）	・家族連れが非常に上昇しており、予約も6月中旬くらいから上昇する。
		都市型ホテル（経営者）	・婚礼の受注件数が例年よりも上昇している。
		通信会社（営業担当）	・インターネット事業の拡大により、新たな家計支出が見込まれる。
		競艇場（職員）	・来月の中旬には新投票所が設置され、また下旬には大きな競争があるため売上がかなり上昇する。
変わらない		商店街（代表者）	・買替えが進み個性的な商品は動いているが、普通の商品に対しては客の興味が低くなっており、その状況が続く。
		一般小売店〔印章〕（営業担当）	・一般市民の購買力は回復しない。
		百貨店（営業担当）	・特招会、優待会など、買得感のある催し以外、来客数に大きな伸びはなく、衝動買いの傾向は依然としてない。
		スーパー（店長）	・ワールドカップが始まって、直接売上に結びつく好材料がない。
		スーパー（店長）	・他の競合店をみても苦戦している様子で、これといって景気が良くなる材料が具体的にみつからない。
		スーパー（店長）	・業績は若干向上しているものの、競合店に対する販促の強化、および経営改善による顧客補給力の向上が図れた結果であり、消費動向は現状維持で推移する。
		スーパー（店長）	・最近の傾向として、来客数は伸びているが、客単価が低下している。
		スーパー（店員）	・必要最小限の物だけ買っていき、もしくは広告の目玉商品だけ買っていきという動向にあまり変わりはない。
		コンビニ（エリア担当）	・今後來客数に変化はなく、パン1つ買うにしても、100円の物を買っていた客は80円の物へと、安価な方へとシフトしていき、客単価は低下し、売上も減少していき。
		コンビニ（エリア担当）	・来客数、客単価からみると横ばいで比較的安定してきた感があるものの、客が余分に買うとか、積極的に足を運ぶということとはあまりなく、まだ財布のひもは固く当面変化はない。
		家電量販店（副店長）	・本当に必要なものしか購入しないという傾向に変わりはない。ついでにこれもといった衝動買い的な動きが出てこないことと上昇気運は生まれてこないが、まだまだそういうところまで客の気持ちになっていない。
		乗用車販売店（統括）	・新車の発売効果が長続きしなくなっている。
		乗用車販売店（総務担当）	・今月はほぼ計画通りの販売台数を確保できたが、もともと目標を低く設定しており、また高級車の売上が上昇してない。
		高級レストラン（スタッフ）	・学校週休2日制による土日の連休に期待したが、依然として来客数は変わらず、これが夏休み近くまで続く。
		都市型ホテル（スタッフ）	・客は単価の低いプランを探しており、高単価の商品、イベント企画がなかなか出ず、当分そうした状況が続く。
		通信会社（経営者）	・新規加入実績が例年平均値を大きく下回ったままであり、客の反応もより厳しく、財布のひもが固い。
テーマパーク（広報担当）	・売上は例年に比べて3%程度の上昇で推移しており、ほぼ横ばい状態である。		
	・今後來客数が上昇する要素がこれといって見当たらない。		

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
		レジャー施設（営業企画担当）	・温泉部門の実績は、今月は早い段階から例年を超え、110%程度の見込みである。 ・今後3か月は近隣に海水浴場や飲食店がオープンするため、客の流れが変わることに期待しているが、やや良くなる方向に近いところで変わらない見込みである。	
		住宅販売会社（従業員）	・展示場への来場者の反応が弱く、受注金額も低迷のまま上昇気運はみえてこない。	
		住宅販売会社（経理担当）	・新規の発売物件が予定されていないため、契約数の上昇が期待できない。	
	やや悪くなる	百貨店（売場担当）	・ヒット商品が特になく、サンダルの売上が例年に比べて悪い。	
		乗用車販売店（所長）	・今月はたまたま新型車が出たために売上が良くなったが、逆に既販車については売れ行きが悪くなっていて、この状態が続く。	
		住関連専門店（広告企画担当）	・顧客の客単価の低下が止まらないので、このまま客を増加させ続けられるかどうかにもかかっているが、そのための経費が非常にかかってくるので、今よりも良くなることはない。	
		一般レストラン（店長）	・3か月ぐらいイベントを行っているが動きが鈍く、来客数も増加しない。	
		観光型ホテル（スタッフ）	・観光客の減少のため売上が悪くなる。	
		都市型ホテル（従業員）	・宴会やレストランの予約数が低下している。	
		旅行代理店（団体営業担当）	・米国テロの影響からの反動需要が思ったより芳しくない。	
		タクシー運転手	・ピアガーデンもピークになる時期だが、そこが終われば帰宅する客が多く、早い時間帯なのでバスや電車の利用が多く、タクシーの売上はあまり見込めない。	
		タクシー運転手	・深夜の歓楽街への人出の減少が止まっていない。	
		通信会社（総務担当）	・インターネットはブロードバンドでの利用エリア拡大によって期待できるが、電話は他社の参入の影響により売上が悪化する。	
		パチンコ店（企画担当）	・ワールドカップ期間中の設備投資を、行政の指導で自粛せざるを得ないので、新規顧客の獲得の手段を講じることに困難がある。	
		美容室（経営者）	・安売りの競合店がキャンペーンを打ったりしているので、そちらに客が流れ来客数が減少している。	
設計事務所（経営者）	・仕事量が少なくなっている。			
悪くなる	乗用車販売店（営業担当）	・新規来客数の上昇傾向が全くみられない。 ・最大の量販車であるスモールカーも頭打ちの状態が続いている。		
企業動向関連	良くなる	-	-	
		やや良くなる	農林水産業（従業者） 鉄鋼業（総務担当）	・スルメイカ漁と合わせて今後に期待できる。 ・受注はエレクトロニクスの材料を中心にかなり急速に回復をしてくれているので、やや良くなると判断しているが、全体を通じて売り値が下がってきているので、収益、業績は下がってきているところがまだ残っている。
		非鉄金属製造業（経理担当）	・価格面はともかく、販売量は拡販努力、電池業界全体の需要回復により徐々に回復傾向にある。	
		電気機械器具製造業（総務担当）	・開発系の受注が多くきている。	
		建設業（営業担当）	・施行先の責任者から、多少無理しても施設の充実を図ることを検討中であるとの話をよく聞く。	
		輸送業（総務担当）	・受注数量が上昇してきており、新しい物件の話も徐々に多くなっている。	
		通信業（営業担当）	・通信業界も値下げ競争からメニュー競争に変わりつつあり、IT化を本格的に推し進める時期になったと言える。	
		変わらない	化学工業（総務担当）	・原料価格の高騰により、収益の低下も懸念されるが、高稼働率を維持しているため大きな変化はない。
			窯業・土石製品製造業（統括）	・IT関連業界は在庫調整のより一層の進展で、引続き生産が上向くものと想定される。 ・鉄鋼業界は今後2～3か月先も市況低迷が続くものと想定され、受注量の回復はほとんど期待できない。
	金属製品製造業（総務担当）		・最近の受注動向をみると、2～3か月先の売上や仕事量が上昇する可能性はなく、むしろ低下する。	
	一般機械器具製造（企画経理担当）		・販売量が例年を下回る状況で低迷しており、今のところ回復の兆しがみられないため、現在のあまり良くない状況が続く。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
		輸送業（総務担当） 金融業（営業担当）	・アウトソーシングの仕事が入ってくる状況が当分続く。 ・3月決算企業のほとんどが減益で、納税額が減少しており、納税資金の借入れをしなくても良い状態である。 ・例年どの業界も6月ごろまでは動きが鈍いが、今年は特にリストラ等も進んでおり、固定費削減により運転資金の需要も少ない状況である。
		広告代理店（営業担当）	・2月に倒産した大型総合スーパーを同業大手が買収し5月から営業を開始したが、一般の小売業の不振は目を被うものがあり、とても広告を打って出る元気がなく、かろうじて中古車、輸入車と住宅からの広告でもっている状態である。
	やや悪くなる	食料品製造業（総務担当） 会計事務所（職員）	・夏場にかけては製造量も受注量も伸びがない。 ・クライアントの中小零細企業の動静は大手の意向にかかっているが、大手は自分の生き残りを計って、片っ端から中小零細企業に対して極端な値引きを要求してきているため、今後もこの傾向がまだまだ当分続き、良くなる見込みがない。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	求人情報誌作成会社（支店長）	・IT業界の先行きが良くなり、そこからの仕事が増加してきている。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	・民間企業を中心に外注を手控える傾向があり、上期中は企業の慎重な姿勢が続く。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新聞広告の申込状況は、依然として例年の90%で推移している。
		学校〔大学〕（就職担当） 学校〔大学〕（就職担当）	・求人件数が4月、5月とも例年との比較で20%程度低下している。 ・求人数の低下が極端に強まることはない。
	やや悪くなる	人材派遣会社（支店長） 職業安定所（職員） 職業安定所（職員）	・正規社員、契約社員、派遣社員、パート・アルバイトといった雇用形態ではなく、業務のクォリティーに合致した賃金体系が早晩確立しない限り、先行き明るいことなどない。 ・新たな雇用調整の相談があり、雇用調整をやっているところは、まだそれを打ち切る考えがない。 ・求人ではパート、臨時雇用の割合が高くなっている。 ・100人規模の事業所閉鎖が予定されている。
	悪くなる	人材派遣会社（支店長） 職業安定所（職員）	・4月以降求職者数が増加している。 ・製造業や建設業を中心に、事業縮小や一時休業などの情報が複数寄せられており、新規求職者数の一層の増加が懸念される。